

# 阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業 情報発信系事業の方向性について(案)

H21.5.26

## 1. 事業実施の方針

- FM 事業の実施内容、新潟水俣病、阿賀野川流域（人・出来事・自然文化等）の情報発信を通じて、FM 事業の目指す方向性を、流域内外に知ってもらう。
- 資料整備や FM 事業の記録・保存を通じて、FM 事業全体を下支えする。

## 2. 具体的方策

### ●阿賀野川え~とこだより

|                  |  |
|------------------|--|
| 基本事項             | ① 年3回(8・11・3月)発行 ② 阿賀野川流域の各世帯へ配付   |
| 発信内容             | FM 事業の実施内容、新潟水俣病、阿賀野川流域の人・物事   |
| 編集体制             | ① 総合プロデューサーを編集長として、事務局が編集担当<br>② 推進委員など、「編集委員」として編集に協力してもらう。   |
| 創刊号の方針方法<br>(予定) | <p>①<u>主に流域(住民)へ、新潟水俣病の「今」を伝える。</u><br/>           【方針】各立場から意見を聴き、現状を多角的に提示する。<br/>           【方法】質問項目を作成、編集委員の協力の下インタビュー</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>②<u>主に流域(住民)へ、FM 事業の「方向性」を伝える。</u><br/>           【方針】新潟水俣病の現状から、現在の問題が見えてくる。<br/>           そこから、FM 事業が実施する範囲＝方向性が提示される。<br/>           【方法】1)「新潟水俣病の現状」から「現在の問題」を分析<br/>           2)「もやい直し会議」を通じて「もやい直し」の内容分析<br/>           3) 両分析を通して、FM 事業の範囲や方向性を導出する。<br/>           4) それを総合 P などの言葉・宣言を通じて伝える。</p> |



【創刊号のスケジュール】（8月10日発行予定）

- ・6月上旬：質問項目の確定、インタビュー対象者の選定
- ・6月中旬～7月上旬：インタビューを実施・記事作成、「現状問題」も分析
- ・6月下旬：3回目の「もやい直し会議」実施し、「もやい直し」の内容分析
- ・7月後半：「FM事業の方向性」を記事作成、印刷業者へ納品

●阿賀野川え〜とこだ!ブログ (URL: <http://www.aganogawa.info/>)



|      |  |
|------|--|
| 基本事項 | ① H21.3 にブログ開設 ② 4月半ば以降、ほぼ毎日更新   |
| 発信内容 | え〜とこだよりを補完すべく、阿賀野川流域全体を発信  |
| 現体制  | 事務局が管理／一部委員の記事＋大学院生の連載記事   |
| 今後展開 | 【方針】気軽に記事の投稿が可能なブログの特性を活用<br>【効果】事業で知り合えた方々（※特に若者）から、気軽に記事投稿に参加してもらう。この要領で、ブログの人脈を広げていき、後々、流域の方々や若者から、流域に関する情報発信の担い手になってもらう。 |
| 参加予定 | ① FM 関係者、②大学生等の若者、③流域市町等の行政関係者、④流域内外で活躍している人々 … etc.   |

●映像記録事業

- 必須業務：FM 事業の各種イベントを記録し、そのつど映像作品として残す。
- 活用方法：ブログから発信予定の映像を提供・ロバダン!での紹介映像を提供
- 検討業務：可能であれば、独創的なアイデアに基づく映像企画を立案・実施

●FM 資料整備

- 事業内容：FM 関係資料を整備(資料の電子化・データベース化・ネット倉庫)
- 整備体制：事務局＋資料整備委員会を中心に資料整備、必要に応じ会議も開催
- 展開方法：パネル展等、FM の各種事業へ積極的に活用、ふれあい館と連携